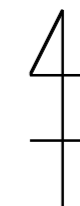


# 道路境界確定図 作成例

※用紙サイズはJIS A3判です

## 道路境界確定図

大字名・小字名〇〇番 地先

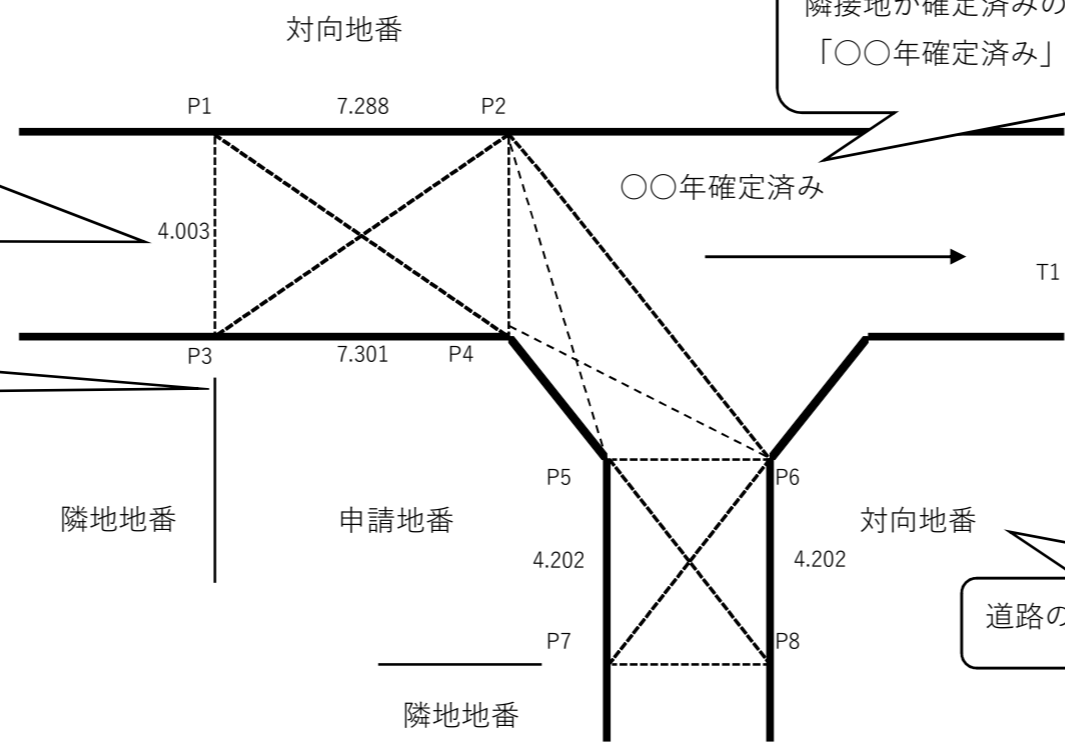


辺長はメートル単位で小数点第3位まで記載してください。(第4位を切捨て)  
また、下記の座標一覧に記載の小数点第3位までの数値から算出してください。

道界と筆界は離して図示してください。

※図示した点はすべて、たすき掛けして辺長を記載してください。

隣接地が確定済みの場合には、「〇〇年確定済み」と記載してください。



道路の片方だけ境界を決めることはありません。

路線番号・縮尺・作成者を記載してください。  
市側で確定年月日を記載するための欄を設けてください。  
空白となる欄は斜線で消してください。

座標一覧表

世界測地系 (測地成果2011)

点名	X座標	Y座標	境界標の種類
P1			新設市コンクリート杭
P2			新設市コンクリート杭
P3			既設民コンクリート杭
P4			新設市金属プレート
P5			新設市金属プレート
P6			新設市金属板
P7			既設民金属プレート
P8			計算点
T1			基準板
T2			基準板

座標値は小数点第3位まで記載してください。(例 12345.123)

使用した座標の種類を記入してください。  
座標系は原則、世界測地系 (測地成果〇〇) とします。

新設の場合、必ず市の境界標 (コンクリート杭、金属プレート、金属板) を使用してください。

基準点は必ず2点以上表記してください。

路線番号	市道 〇〇-〇〇〇 号線	
縮尺	1 / 250	
確定年月日	年 月 日	
作成者	〇〇測量事務所 土地家屋調査士 〇〇 〇〇	印